



地域おこし協力隊卒業!! 和氣さん、柳田さん

6月19日(木)役場本庁で、6月30日に任期満了を迎えた農林課所属の和氣邦夫さんと水産課海業推進室所属の柳田亮介さんの卒業報告会があり、地域おこし協力隊として3年間の活動の集大成を報告しました。

中村維伯町長は、「和氣さんの愛南ゴールドと青果市場知名度向上への熱い思いやチャレンジ精神は、ふるさと納税による町寄付額の増加にもつながるなど、大きく貢献いただきました。柳田さんは、水産資源を活用してのぎょしょく教育やウニッコリーの畜養など、幅広い活動を通じて、町の水産業の未来に貢献していただき、その行動力は職員にとってもいい刺激となりました」と、2人の成果に敬意と感謝を伝えました。



お世話になりました

和氣 邦夫さん

愛南町の皆さま。地域おこし協力隊の任期終了しました和氣です。

暑いですね。3年前に青果市場の競りの後掃除をしたら大量の汗!こらあ持たんぞと思いきや、あっという間の3年間でした。

愛南町での地域おこし協力隊活動の目標にしたのが、

- ・ 大好きな愛南ゴールドを全国に知らしめ販路を拡大すること
- ・ 高齢化している生産者の所得アップ
- ・ 四国の端っこの愛南町のPR

どうしたらいいか思案しながら歩いてたら、思いついたのがふるさと納税返礼品でした。

初年度926件、2年目では目標の2倍6,134件の愛南町の農産物を全国47都道府県の寄付者の方に届けることが出来ました。

任務最終日に、昨年愛南ゴールドを初めて食べて美味しかったから注文したいとの電話があり、とっても嬉しかったです。

今後も、愛南町で愛南ゴールドの販売に携わる仕事をしたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



3年間で気づいた、愛南町の宝物

柳田 亮介さん^{りょうすけ}

令和4年7月1日に水産課の地域おこし協力隊として着任しましたが、気づけばもう任期満了。あっという間の3年間でした。本当にたくさんの町民の方々にお世話になり、感謝してもし切れない、そんな気持ちでいっぱいです。

そしてこれが協力隊員としての最後の寄稿。活動報告のような文章を書きかけましたが…いや待てよ、本当に伝えたいことはこれじゃないな…う～ん、町民のみなさんに伝えたいことを一つだけ書くとしたら…と考え直しながら、協力隊活動を締めくくる駄文を綴ってみようと思います。



この3年間、愛南町のあらゆる資源の豊かさを実感してきました。美しい海や壮大な景観、控え目に言って最高すぎる海の幸。釣りやマリンレジャーでも圧倒的な魅力を誇り、地区それぞれに特色ある祭りなどの文化もまだまだ残っています。こんな豊かな町、他にありますか？

しかし、それら全てがかすむほどの最高の資源が、愛南町にはある。この3年間で、そのことを確信しました。

それは、「人」です。

穏やかで明るく、面倒見がいい。そしてゲストをあたたく迎え入れる気風。いろいろな場所を訪れたり、さまざまな活動に参加したりする中で、地域の人々と関わるのができれば、その楽しさが何倍にも膨らむ、そんな場をたくさん経験しました。

逆に、元気がない時には「ちょっとお茶でも飲んで行きな一れや」と、さりげなく寄り添ってくれる。嬉しさや楽しさは何倍にも、悲しさや苦しさは半分に一そんな共感力・包容力。いつも町民の皆さんと共に楽しみ、時には救われてきました。

愛南町には移住者も多くいますが、その移住者たちもまた同様、本当に素敵な人ばかりです。

この町の風土や文化がこうした「人」を育み、「人」を引き寄せるのでしょう。「人」こそが、愛南町の最大の資源であり、かけがえのない宝物だと、私は思っています。

知らない土地を初めて訪れるとき、景色や食だけでなく、出会った人たちがその土地の印象を大きく左右します。私が移住先として愛南町を選んだ大きなきっかけになったのも、一人の旧友の存在でした。

決して「愛南町を好きになってもらおう」と無理に何かするのではなく、ただ自然に、この町の気候風土に包まれて暮らしている自分の存在が次の“愛南ファン”を生み出す。そんな存在になれたらと思っています。

もちろん長く住んでいると、いい面だけじゃなく、いろいろあると思います。でも、それまた「人」と共に乗り越えていくのでしょう。



2人は退任後も町を拠点に活動していきます。
和氣さん、柳田さん、協力隊としての3年間、本当にお疲れさまでした!!